

地域の中学生を含めた住民へ新しい形式の創作過程を体験させた

インターナショナル・シェアハウス・照ラス

活動の目的

交流・定住を求めている地域には元気な若者たちとの交流を、異文化圏への進出や安定的な創作環境を求めているアーティストには適切な創作環境を提供する。

活動の内容及び経過

1. 旧北房中央保育園の跡地を活用した「旅人食堂」の常時化
才能を持っている海外からの旅人を誰でも入りやすい「食」をテーマにし、異文化圏の人々を地域に繋げる旅人食堂を旧北房中央保育園の跡地を改修してオープンした。施設は、カフェや、オフィス、ワークショップができる空間に構成され、照ラスと連携することで、「食」、「住」だけではなく、様々な文化活動ができる施設になった。その例として、韓国の大手企業SKグループの専務であるユク・テソン氏が2ヶ月間テラスで滞在しながら、旅人食堂で地域のお母さんたちに韓国の料理や世界の旅から学んできた世界の食べ物を教えるワークショップを行った。
2. 久世に小劇場づくり
真庭市本庁舎の前の美容院の跡地を活用し、市内のアーティストが集まって観客10人規模の小劇場を作るプロジェクトを始めた。映画監督、山崎樹一郎氏や女優、金定和沙氏と共に絵本をベースにしたワークショップを行い、空間を活用した作品作りを試してみた。
3. 旅人食堂を活用し、県内のアーティストによる作品づくり
劇作家である角ひろみ氏や、演出家の菅原直樹氏、女優の申瑞季氏と共に新しい作品づくりのため、旅人食堂にてワークショップを持つ予定だったが、コロナの影響で姜が日本に戻れなくなり、別の場所で行うことになった。

活動の成果・効果

今まで、イベント的に場所を借りて活動を行ってきたが、旧北房中央保育園を旅人食堂として活用することで、様々な活動やワークショップを実行できる場所を確保することができた。しかし、その場所を活用した活動が出来ず、年度を超えてしまった。また、2020年に入ってからコロナの影響で、旅人食堂や照ラスの営業もできなくなり、一時的に仕事の関係で韓国に行った代表者の姜も日本に戻る事が出来ず、2020年2月から現在（10月）まで韓国で滞在して、活動を続けることができなくなっている。

今後の課題と問題点

活動の主な収入源である照ラスや旅人食堂の営業ができなくなり、しばらく代表者は韓国で仕事を続けることになってしまった。コロナの影響が続いている間は、代表者は一



時的な帰国しかできなく、韓国で滞在することになっている。今後の活動の再開について、いつになるのかはまだ未定である。

- 代表者：姜命秀 ●所在地：真庭市下中津井
- TEL：0867-45-1117 ●E-MAIL：yoonsoo.maniwa@gmail.com
- URL：www.iterasu.org
- 設立年：2016年
- メンバー数：代表1名 滞在アーティスト及び多国籍入居者